

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 よつぱ			
○保護者評価実施期間	2025 年3月1日		～	2025 年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業員評価実施期間	2025 年3月1日		～	2025 年3月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	新築で専業運営も行っていることもあり、発達支援プログラムを実施するうえで十分なスペースが確保されており、個々にあったプログラムを実施できている。	個々のプログラムや内容に集中して行われるよう個室も設けた、利用したプログラムの運営も全ての利用者に取組んでいる。	個別プログラムの強化として、一人の職員の教育・指導を行い、個別プログラムがより多く実施できるよう努めている。
2	在宅サービスで培ってきた経験を生かし、長年小児領域で活躍していたスタッフが多数在籍しており、子供たちとの関わり方や保護者の気持ちによりそったサービスの提供が行われている。	既存事業で在宅サービスも行っているため、通所している子供たちの家での様子も実際に見ることができ、通所での療育に生かされるよう取り組んでいる。	保育士、看護師、機能訓練指導員、全てのスタッフが在宅での様子や他機関・幼稚園での様子が分かり、当該事業所を利用した際に継続した療育が行えるよう幅広い見聞が得られるよう積極的にやっていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園や幼稚園、小学校との連携がまだ十分で継続した療育が実施できるよう地域との交流・連携を深めていく。	現状運営も十分に行うための職員は確保されており、地域に出る職員の不足。	当該事業所も周知すること、地域に知ってもらうことで包括的な療育を行っていくことができる。
2	保護者向けのイベントや情報共有の場の開催が定期的に実施できるとより良かったと思います。	新設科目ということもあり、日々の業務・運営に適応するあまり、保護者の方にもあまり目を向けられていないかたように感じています。	年間スケジュールの提示や保護者様とより密にコミュニケーションをとること、こういったことも知りたいか、学びたいかを把握することで実のあるイベントの開催も実施する。
3			